

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	「しあわせになる」という理念を持ち、掲げている。	利用者様、ご家族よりここでの生活で「良かった」と思ってもらえるようにしていく。
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	カンファレンス・申し送り時に話し合いや意見交換をし、理念がある事を意識しながら仕事に取り組んでいる。	職員は朝の申し送り時に理念を黙読し、仕事にのぞみスキルアップしていきたい。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	運営推進会議を通して出席の方には、理念と役割について説明している。	地域向け広報を利用し、事業者の実践を伝え、理解して頂けるよう取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	朝のゴミ出しや散歩、買い物時など近所の方々への挨拶をしているが、立ち寄ってもらえるまでにはなっていない。	地域の方と利用者様を交えたお茶会を開催し、交流の機会を作っていきたい。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	町内会の方等、夏祭りへの行き来や敬老会などに参加し、交流に努めている。	今後も地域の行事に参加し、地域住民の一員としての役割を担っていきたい。
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	地域の方からの相談に応じながら、他機関への紹介や事業としてできる限り取り組んでいる。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>年1度全員で自己評価に取り組み、その結果をスタッフへ配布されている。</p>	<p>改善内容については計画だてて取り組んでいき、全体会議を利用し職員の意見も取り入れていく。</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議では自己評価、外部評価の結果と取り組みについて説明し、意見を頂いている。</p>	<p>運営推進会議に色々な方に参加して頂けるよう議案を考えていきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市担当者には運営上の質問や取り組みについて協力を頂いている。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者や職員は、成年後見制度や地域権利擁護事業についての勉強は不十分である。</p>	<p>成年後見制度や地域権利擁護事業についての研修参加と勉強会を行なっていきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>記録を常に残し、情報交換をしている。管理者は職員と関係を深め、虐待のないよう対処している。又、暴力のある入居者等、専門の医師に相談し助言を頂いている。</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>不安や疑問点など尋ね、何か要望があれば、伝えてほしい事をご家族に説明している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様からの意見や不満等がある時は話を十分に聴き、管理者・職員は情報の共有をし、運営の参考としている。</p>		<p>利用者様の要望や意見を引き出せるように、意図のあった会話の機会を多く作っていく。</p>
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>家族へのお便りや電話などで近況報告をしている。</p>		<p>広報に職員紹介や発行回数を増やし、利用者様の普段の暮らしぶりを伝えていきたい。</p>
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見箱を設置している。しかしほとんどは直接の訴えにより対応し、反映させている。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスや個人面談で職員から聴くようにしている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>行事や日々の予定に合わせ、人員確保を行っている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>急な職員変更もあるが、不安にならないよう利用者様一人ひとりの性格に合わせ配置を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修への参加を常に設けている。研修後は全スタッフが文書で閲覧出来るようにしている。</p>	<p>研修内容のアンケートを取り、外部から講師を招いたりし、研修の充実を図っていく。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>市全体、同地区の管理者会議があり、その都度出席しネットワーク作りや勉強会などを通じてサービスの質に取り組んでいる。</p>	<p>同地区の管理者会議で、交流の機会等の取り組みが検討されている。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者は管理者やスタッフの面談を通し、ストレスを把握し、軽減するように努めている。</p>	<p>親睦会を開き、職員のコミュニケーションをはかりストレス解消となるようにしている。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者は資格取得のバックアップと研修参加の機会を設け、向上心を持って働けるようにしている。</p>	<p>話しや意見をもとに、考えた事を実行にうつせる様に又結果、問題点が無かったのか常に考え話し合いのできる環境づくりをしていく。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前の面談でご本人様から不安や困っている事、要望などよく聴き、信頼関係に努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談時より家族が不安な事や求めている事など聴き、事業所として対応できる範囲について説明している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	話を十分に聴き、選択出来る事など対応に努めている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人、家族共に事業所の見学・面談を行い、安心して生活して頂ける場になるよう家族等の協力も得ながら行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に出来る事は一緒に行ない、その事を通しお互いに理解・学びを得られるような場を設けている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時など細かい事でも情報交換をし、関係を築く努力をしている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人が落ち着いて生活する事で、ご家族との関係の支援をしている。		利用者様と家族の共有の時間が持てるよう、行事内容を見直していきたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	デイサービスの継続や懐かしい場所へ行く等の支援を行っている。又、友人訪問等が気兼ねなくして頂けるよう働きかけている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食事時の会話や同じ作業をするなどで、他者との交流を図っている。		他階との利用者同士の関わり合いの機会がもてるよう物作りなど行っていく。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了してからも、お見舞いに行ったりと継続している。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の対話の中から本人の希望や意向を聴き、沿えるよう努めている。又、自分の意志が表しづらい方には生活歴をもとに聞き出している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前の所やご家族より情報を聴き、サービスに生かせるよう努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	本人に無理のかからないよう個人ごとに合わせ支援し、動作や会話よりその人の全体像を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	カンファレンスにて、ケアマネージャー・スタッフが共に相談しケアプラン作成している。		定期的に家族にアンケート調査も行ない、よりよい介護計画書作りに取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月毎の見直しをし、状態の変化や介護度の変更毎に随時見直しを行っている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	個々のケースを作成し記録に残し、スタッフの引継ぎを行っており、介護計画の見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院や送迎等、家族が行けない場合など柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	保育所の運動会見学、消防のもと避難訓練や救命講習等を行っている。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の意見に合わせ、デイサービスの利用など活用している。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に包括センターの職員が参加するようになり、情報の交換を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>入居時にかかりつけ医については本人・家族と相談の上決めている。協力医療機関の往診も受け、健康管理を行っている。</p>		
<p>44</p> <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>認知症に詳しい医療機関は把握しており、医師や家族と相談し、受診機関を決め支援している。</p>		
<p>45</p> <p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>事業所に看護師の配置はないが、往診医やかかりつけ医の看護師へ相談している。</p>		
<p>46</p> <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院時には情報提供を行い、退院後のアドバイスを頂くなどし、早期退院に努めている。</p>		
<p>47</p> <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>かかりつけ医の診断のもと、早い段階から関係者・家族等とは話し合い、全員で方針を共有している。</p>		<p>運営者と重度化、終末期については話し合いを重ね、段階的に取り組むことにしている。</p>
<p>48</p> <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>重度化や終末期については事業所として出来る事は、かかりつけ医と共に取り組んでいる。</p>		<p>全職員のスキルアップを図り、利用者様・家族に安心した状態で取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	身体状況、ホームでの暮らしぶり等出来る事は情報提供を行ない、住替えする際に少しでも混乱や不安がないようにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	記録等は棚に保管し、外部者に対して入居者のプライバシーは口外していない。又、入居者様一人ひとりの人権を尊重し、声掛けにも十分注意している。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者様がわかりやすい言葉で説明し、写真や現物を使い自己決定が出来るようにしている。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの起床や食事時には配慮しており、出来る限り希望に沿えるようにしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人の希望に沿って服装は決めている。理容については出張して頂き、本人の望む髪型などを相談し行っている。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	その人の力に合わせて、調理の下準備、お茶入れ、食器拭きなど行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	コーヒー、タバコ、ビールなど本氏の好みに合わせ、体調や状態を配慮しながら楽しめるようにしている。		タバコは決まった場所で吸って頂き、ライターの取り扱いは今後も十分気を付けていく。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	尿意のない方には時間で声掛けをし、トイレでの排泄に向けた支援を行っている。自立されている方も多いが、排泄チェック表に記入し、パターンを把握している。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の希望に添うようにしているが、体調・血圧によっては入浴日や時間を決めてしまう事がある。		体調・血圧の変化を把握し、利用者様の意向に合うように努めていく。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	疲れた様子が見える時など、さりげなく休憩してもらえるよう声掛けをしている。又、寝つけない方には温かい牛乳など時々の対応を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活歴より縫い物や盛り付けなど負担とならない役割をもち、又、散歩、花札、トランプ、カラオケなど気晴らしが出来るよう支援している。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの力に応じて、出来る方にはして頂いており、一緒に買い物に行った時は支払いなどしてもらっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩やドライブなど、その日の希望になるべく沿って出掛けられるよう支援しているが、人員配置によって希望に沿えない時もある。		職員の配置の見直しとし、ボランティアの活用により外出の機会を作っていく。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言っていたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	墓参りや高速を利用し、いちご狩りや紅葉狩りなど日帰りではあるが、一人ひとりに沿った外出支援をしている。		事業所として泊まりの行事はしたことがなく、利用者様の体調を踏まえ、家族と協働しながら前向きに考えてみたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の利用を促したり、他者へ遠慮なく話せる場所など配慮している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間の制限は定めていなく、自由に来て頂けるようにしている。来訪時には居室等でゆっくり過ごせるように配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	歩行不安定な方は巡回を増やしたり、ベルを使用し呼んでもらうなどし、拘束は行っていない。又、ベット柵を使用の方は起き上がりの補助具として使用し、ご家族に同意を頂いている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間ユニット入口は防犯の為施錠するが、それ以外は行っていない。無断外出の対応の為ドアチャイムは付けているが、ドアにポスター貼布したり、定期的な巡回チェック表を作成したりと対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中出来るだけ声掛けを行ったり、一緒にレクを行ったりして所在・様子を把握している。夜間は定期巡回をし、安否確認を行なっている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者様に合わせ、ハサミ、カミソリ等持っており、危険と思われる時は家族にも相談し対応している。		利用者様の状態を見極め、状況変化に即した対応をしていきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	歩行器の使用の検討や、手摺りの設置、薬の二重三重のチェック、防火訓練等行なっている。		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	心肺蘇生や応急手当等、年2回実施予定しており、全職員が参加し対応出来るよう努めている。		急変の対応には不安があるので、細分化した勉強会を行なっていきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	運営推進会議や地域防災訓練の参加により、働きかけと関係を築けるように努めている。		防災グッズを徐々に取り揃えたり、防災訓練の実施と避難経路の確保と見直しを、消防署の協力を得ながら運営者と進めていきたい。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	個々の疾患や転倒の危険等、説明し対応策を考え、家族に伝えながらケアしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタル測定や顔色、歩行状態、入浴時の皮膚チェックなどし、細かい部分の変化を見逃さないよう記録し、情報の共有を図っている。		気温の変化や感染の流行情報を収集し、先手の対応をとっていきたい。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	増薬があった場合なども申し送り、どのような効能・副作用があるかなど把握出来るようにしている。		薬剤師を招いて、副作用の勉強会を行なっていきたい。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排便チェックをし、排便最終日や便の状態を把握し、飲水の促しや食べ物などで自然排便が出来るように工夫している。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	朝・晩は声掛けや介助で行なっている。		昼食後の口腔ケアが十分されていないので、見守り又は、一部介助にて実施していきたい。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとり必要な量が摂れるよう声掛けや、本人が食べたい物へ代えたりし、栄養摂取出来るようにしている。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがあり、掃除・消毒を日頃から行い、感染症の予防に努め、利用者の体調変化に気付けるよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食材はほぼ毎日配達してもらっている。しっかり加熱するなど個々に取り組んでいる。調理場・食器等の消毒をし、衛生管理に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>靴が履きやすいように椅子を置いたり、歩行状態が良くない方でも出入りしやすいようにしている。又、ベンチや花を置いたりし、安心して出入り出来るようにしている。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>トイレや居室などにわかりやすい目印を設置し、居間・廊下には季節に合った飾りを皆で作し、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>くつろげる共用空間は居間であるが、気の合った利用者様同士で会話などされている。</p>		<p>1階部分を活用しスペース作りをしていき、思い思いに過ごせるような場所作りをしていく。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた家具などを入れ、危険箇所のないよう配慮しながら使用・配置して頂いている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>体調を含め、昼夜で温度調整や湿度管理、換気を行なっている。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>浴室、トイレ、廊下など、手摺りなど設置しており、自立した生活が送れるようにしている。</p>		<p>段差(大・小)がありスロープや踏み台にて解消しているが、危険なため見守りや一部介助を徹底していきたい。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>何か作業する際など出来る事、出来ない事を把握した上で行って頂き、目印をつけ混乱を防いだり、失敗しても繰り返さないように対応し、安心して暮らせるようにしている。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>今年は裏の畑を活用出来なかったが、プランターの苗植えや花は楽しんで頂いている。</p>		<p>作物が収穫できるよう畑の手入れから利用者様と一緒に行っていき、収穫を喜び合いたい。</p>

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある <input type="radio"/> たまにある <input type="radio"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらい <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> 家族の2 / 3くらい <input type="radio"/> 家族の1 / 3くらい <input type="radio"/> ほとんどできていない

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ毎日のように 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> たまに <input type="radio"/> ほとんどない </p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p> <input type="radio"/> 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない </p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない </p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない </p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない </p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

自宅で過ごしていた時のように、お孫さんやご友人がよく遊びに来てくれます。その時には他の入居者様とも楽しく会話ができる雰囲気となっています。